烏帽子の会　活動報告　　《　静寂と紅葉に包まれた戸倉山トレッキング　》

《月日》　10 月 31 日（金）　　《天候》　曇り　　《参加者》　15 名

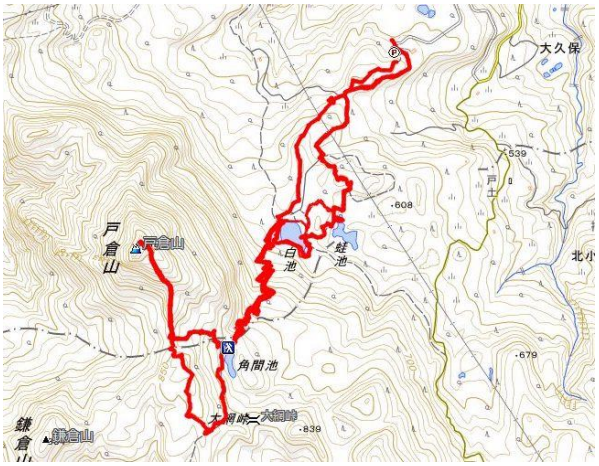
《コース状況》
登りの標高差は 530m、歩いた距離は 6.4Km、行動時間は休憩を含み 5 時間 45 分。戸倉山から大網峠に向かう道など分かりにくい箇所も一部あるが、全体的に危険箇所も無く、歩きやすいコースだった。

《コースタイム》
7：00 大町市役所発～ 9：00 登山口発～ 9：35 白池着～ 11:30 戸倉山山頂着～ 12：20 昼食後出発～ 12：55 大綱峠着～ 13：40 白池着～ 14：45 蛙池経由登山口着～ 16：40 大町市役所着

《感想》
低気圧の影響で夕方から雨の予報が出ていたが、山の天気予報では日中は曇りとのこと。迷った末、白池の森駐車場からの戸倉山周回ルートを決行した。天候のせいか登山者の姿はなく、静かな山歩きを楽しむことができた。

白池の森駐車場で支度を整え、ストレッチを済ませて出発。紅葉に彩られた白池を経由して、角間池を目指す。時折、強い風が梢を揺らす。角間池からは、いよいよ戸倉山への登りが始まる。途中、展望の開けた場所では思わず足が止まる。色づいた山々の向こうに冠雪した雪倉岳、朝日岳が美しく浮かび上がっていた。

山頂に着くと、ザックを下ろすのも忘れるほどの景色が広がっていた。360 度の眺望が広がり、冠雪した北アルプス、雨飾山と焼山、海谷山塊、姫川が流れる糸魚川市とその先の日本海、明星山など、見渡す限りの山々と海が織りなす景色に大満足。吹いていた風も次第に弱まり、寒さもさほど感じず、貸し切りの山頂で昼食をとりながら、たっぷりと大休止をとった。

下山は道標のない分岐から大網峠方面へ。ブナの木にペイントされた丸印を頼りに進む。色づいた美しいブナの森の中をアップダウンしながら歩いていると、突然「塩の道」大網峠に出る。白池と大網峠の間は、かつて塩を運んだ千国街道、通称「塩の道」である。今回は塩の道ガイドでもある澤度さんに同行いただき、ポイントごとに説明をしていただいたことで、歴史にもふれながらの充実したトレッキングとなった。

大網峠からは白池まで一気に下る。ひと休みした後、白池の周囲を歩き、蛙池方面の分岐へ。紅葉した森がエメラルド色の白池に水鏡となって映り込み、息を呑む美しさ。思わず皆が写真を撮る。そんな寄り道をしながら、秋の自然をたっぷりと味わう一日となった。